

その17 香里ヶ丘

(平成8年5月1日号—第181号)



28 陸軍用地標柱(左)(香里ヶ丘2丁目)、
29 旧香里製造所煙突(右)(香里ヶ丘8丁目)

枚方市南部の丘陵地帯に香里ヶ丘地区があります。現在は団地等が建ち並んでいますが、かつて、ここには陸軍造兵廠[ぞうへいしょう]の香里製造所がありました。昭和14年に操業を開始した香里製造所は、終戦後に閉鎖されるまで150ヘクタールの敷地を持つ日本有数の火薬製造所でした。

昭和27年、火薬製造所の再開が計画された際は、地域住民が強力に反対運動を繰り広げ、ついに計画を断念させました。

昭和31年から日本住宅公団による香里団地建設が行われ、33年には「香里ヶ丘」の地名が誕生し、入居が始まりました。

香里ヶ丘地区は、並木のある道路、公園、商店街、下水道などが整備された近代的なまちでした。また、住民は年齢も若く、旧市域とは異なった地域社会を形成し、活発な住民運動によって全国初の乳児保育を含む公立保育所を実現させました。

建設されてから40年以上経つ香里団地では、今、建てかえが進められています。しっかり枝葉を張った街路樹、周辺地域に溶けこんでいる自然環境などを残しながら、人にやさしく活気あふれるまちへの再生が望まれます。